

2023年6月19日

ランクセス、環境保護への取り組みを推進

ランクセス株式会社

- 「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン」の実施: オフィスに加え自宅でも一斉消灯(6月21日及び7月7日の二日間)
- 「マイボトル・マイカップキャンペーン」の実施(7月～9月の3ヶ月間)

ドイツの特殊化学品メーカー、ランクセス(LANXESS)の日本法人であるランクセス株式会社(本社: 東京千代田区)は、環境保護と持続可能な社会的発展に取り組むグローバル企業として、6月を環境保護強化月間と位置づけ、国内での環境保護への取り組みを実施しています。今年も、2つの具体的な取り組みを通して、従業員の環境保護への意識を高めるとともに、環境保護に貢献する活動を実施します。

1つ目の取り組みは、ランクセスが2014年から実施している「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン」です。国内全3拠点のオフィス内での一斉消灯に加え、各自の”ホーム”オフィス(自宅)にて可能な限りの一斉消灯を行います。2つ目の取り組みは、「マイボトル・マイカップキャンペーン」の実施です。同キャンペーンは、国内3拠点を対象に、従業員のマイボトル及びマイカップの使用を促進することにより、社内での紙コップの使用量を削減します。

ランクセス日本法人で代表取締役社長を務めるジャック・ペレズは次のように述べています。「ランクセスは、お客様にとって持続可能なパートナーとなるべく、明確なロードマップと対策を推進しています。ランクセスは2040年までのスコープ1及び2の自社排出におけるクライメイト・ニュートラル(気候中立)を目指すと共に、「ネットゼロバリューチェーン2050」の目標のもと、バリューチェーン全体におけるスコープ3の排出量を最終的に中立にすることを目指します。日本においても、この機会に社内及び地域社会での環境に対する意識向上に取り組んでいくと共に、持続可能な製品の提供を積極的に進め環境保護への取り組みを推進して参りたいと思います」

ランクセスはまた、これらのキャンペーンに加え、サステナビリティをテーマにした従業員向けのオンラインセミナーを年間を通して開催し、持続可能性を推進する企業文化、イノベーションの醸成にも努めています。

さらに、今年3月には、グループ全体で提供する自社製品のカーボンフットプリントを自動的に算出するツール「プロダクト・カーボンフットプリント・エンジン」を発表し、製品ライフサイクルにおけるゆりかごからゲート(Cradle-to-gate)アプローチに従い、生産時の温室効果ガス排出量に加えて、製品毎の原材料、消費エネルギー、操業用資材、物流からの排出量及び廃棄物処理による排出

量などに関して、お客様へ情報を提供することが可能となりました。ランクセスは、これにより顧客企業の持続可能性の目標達成を支援することを目指しています。

「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン」

ランクセスの日本法人では、2014年より本キャンペーンに参加しており、今年で9年目の実施となります。今年、ランクセスの国内全3拠点において、6月21日および7月7日の夜8時から10時までの2時間、オフィス照明の一齐消灯を実施するとともに、従業員やその家族にも“ホーム”オフィスでの可能な限りの一齐消灯を呼びかけます。この消灯による消費電力削減量は、国内全3拠点で1実施日あたり約76kWh^{*1}、ホームオフィスでの削減分は測定不可能ですが貴重なCO₂の削減となる見込みです。

「マイボトル・マイカップキャンペーン」

同キャンペーンは、2020年に従業員の自主的な取り組みとして開始されました。今年度は、7月から9月までの3か月間、国内3拠点を対象に実施し、実施期間中、事業所内での紙コップの削減量をモニターすることで効果を測定^{*2}します。

目標：バリューチェーン全体におけるクライメイト・ニュートラル

ランクセスは、今後、サプライチェーン全体における排出量に注力していきます。2022年8月、ランクセスは、スコープ3排出量に関してグループ全体で2050年までにクライメイト・ニュートラル（気候中立）を目指す目標を設定しました。この目標には、特に購入原材料からの間接排出だけでなく、物流や最終製品からの排出も含まれます。自社の製造プロセスから発生する直接排出（スコープ1）および外部エネルギー源による排出（スコープ2）については、ランクセスはすでに3年前に、2040年までにクライメイト・ニュートラル（気候中立）達成するための目標を設定していました。

科学的根拠に基づく目標イニシアティブ（SBTi）は、ランクセスの気候目標が地球温暖化を1.5°C未満に抑えるために有効であり、パリ協定に合致していることを認証しています。

ランクセスは、スコープ3の目標を達成するため、全社的なネットゼロ・バリューチェーン・プログラムを開始しました。このプログラムの一環として、ランクセスは、持続可能な原材料の調達を増やし、「グリーン」ロジスティクスを導入し、クライメイト・ニュートラル製品のポートフォリオを拡大しています。

気候変動に関して国際的な機関より最高評価を獲得

ランクセスは、国際的な気候変動問題などへの取り組みを行う団体CDPから、グローバルリーダーの一社に認定されました。CDPの2022年の調査において最高評価を獲得し、「気候変動Aリスト」（世界で283社）に選定されました。これは、CDPが調査した15,000社以上の企業のうちの上位2%に入ります。

さらに、「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス(DJSI World)」の構成銘柄にも選出されています。「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(以下、DJSI)」のヨーロッパ・インデックス(DJSI Europe)において 100 ポイント中 85 ポイントを獲得し、引き続き化学部門で第 1 位を獲得しています。ワールド・インデックス(DJSI World)でも第 2 位を獲得し、特にプロダクト・ステewardシップ、水関連リスク管理、人権の分野で高い評価を得ました。

持続可能性に特化した評価機関である MSCI が ESG 分野におけるランクセスの格付けを引き続き「AA」と認定しました。また、エコバディス(EcoVadis)のサステナビリティ格付けで、2022 年、ランクセスはプラチナレベルを獲得しています。プラチナレベルの格付けは、エコバディス(EcoVadis)が分析した 75,000 社のうち、上位 1%に与えられるものです。

ランクセスの持続可能な開発目標(SDGs)及び環境保護を推進する活動については、以下の URL にてご確認ください。

クライメイト・ニュートラル(気候中立)2040

<https://lanxess.co.jp/jp/sustainability-japan/climate-neutral/>

持続可能な開発目標(SDGs)への取り組み

<https://lanxess.co.jp/jp/sustainability-japan/sqds-j/>

サーキュラーエコノミーへの支援

<https://lanxess.co.jp/jp/sustainability-japan/circular-economy/>

※1 今年の消費電力削減見込みは、1 実施日(2 時間)あたりの国内全 3 拠点における総削減量の推定値です。尚、川崎拠点での実施は、移転のため 7 月 7 日のみとなります。

※2 環境省発行「リユース可能な飲料容器およびマイカップ・マイボトルの使用に係る環境負荷分析について」参照(https://www.env.go.jp/recycle/yoki/c_3_report/pdf/h23_lca_01.pdf)



2022 年のランクセス豊橋事業所での一斉消灯の様子(写真:ランクセス株式会社)

#

ランクセスについて

ランクセスは、世界 33 カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2022 年の総売上は 81 億ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約 13,200 人です。主な事業は、中間体、添加剤、コンシューマープロテクション製品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスは、持続可能性に優れた企業を選定する「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス」のワールド・インデックス (DJSI World)、ヨーロッパ・インデックス (DJSI Europe) および「FTSE4Good」の構成銘柄です。ランクセスについての詳細は同社 URL にてご確認ください。

www.lanxess.co.jp

本件に関するお問い合わせ先

ランクセス株式会社 コーポレートコミュニケーションズ

TEL : 03-5293-8006 FAX : 03-5219-9773

lanxess.japan@lanxess.com

免責について (Forward-Looking Statements)

本プレスリリースには、ランクセスの予測、見解、期待、そして第三者からの引用を含む、予測・予定事項の記述がございます。様々な既知あるいは予測不能なリスク、不確定要素、またその他の要因により、実際に発生する結果、財務状態、発展及び業績が、本資料に記載の予測・予定事項と大幅に異なる可能性があります。本資料に示される将来予測に関する意見の正確性や進展が実際に起こりえるかどうかに関しても責任を負うものではありません。ここに示されたいかなる情報、予測、推定、目標、意見に関して、明示的あるいは黙示的な表明や保証を行うものではありません。そのため、これらの記述につきまして、本資料の記載事項に全面的に依存されることは控えて頂きますようお願いいたします。本資料に示されたいかなる脱漏、誤った記述に関しても責任を負いかねます。また、この資料を使用することによる直接的あるいは間接的に生じる事項に関して、ランクセスとその関連会社、役員、責任者、従業員は一切の責任を負いかねますので、併せてご了承いただきますようお願い申し上げます。

その他の情報

ランクセスのニュースリリースは www.lanxess.co.jp の「プレスリリース」項目よりご覧ください。また、役員およびその他の写真は <http://photos.lanxess.com> (英語) より入手いただけます。ランクセスの動画および音声、ポッドキャストについては下記をご覧ください。 <http://globe360.net/broadcast.lanxess/> (英語)

ランクセスのウェブマガジンは下記でご覧いただけます。

<https://webmagazine.lanxess.com/ja/> (日本語)

ランクセスの Twitter、Facebook、Linkedin、YouTube の公式ページは下記サイトをご覧ください。

http://www.twitter.com/LANXESS_JP (日本語)

<http://www.facebook.com/LANXESS> (英語)

<http://www.linkedin.com/company/lanxess> (英語)

<http://www.youtube.com/lanxess> (英語)

(2023-J0619J)